

第 6 学 年 道 徳 学 習 指 導 案

指導日時 平成16年11月9日(火) 公開授業
 指導学級 6年2組 男16名 女15名 計31名
 指導者 金子 亨

・総合単元名 世界の人々とともに

・総合単元のねらい

世界の人々と生きていくために、日本を含めたあらゆる国の人々の風習や生活を知り、国際親善に努める心を育てる。

・総合単元的な道徳学習の構想について

子どもたちは、様々なメディアの発達により居ながらにして世界の国々の様子や抱えている問題などについて把握できるようになってきている。それによって、少なからず日本以外の国のことも意識はしている。しかし、それはあくまでよその国の問題であり自分たちには関係ないといった考えである。そこで、国際化が進むにつれて直接外国の人々と触れ合う機会も増えている今日、世界の国々や人々に対する正しい理解をもち、世界とどう関わっていくかについて考えることはきわめて必要なことであると考え、総合単元「世界の人々とともに」を設定した。

本単元では、「出会う」の段階としてオリエンテーション「世界に目を向けて」や総合的な学習の時間で、世界中の誰もが平和で穏やかな生活をしていきたいと願っていること、そのために尽力している人たちがいることを認識させ、「深める」につなげていきたい。「深める」の段階では、実際に外国の方々との交流を通してそれぞれの文化について理解させ、歴史的背景も含めて国際親善についても考えさせたい。「生かす」の段階では、交流した外国の人たちにお礼の手紙やメールを送ったり、自分が調べた国について発表し合うことで、さらに世界の国々に目を向け、自分ができることをしていこうという実践的な態度を身につけさせていきたい。

子どもたちの国際理解に関わっての実態を知るために、意識調査を行った。結果は以下の通りである。

「国際理解」に関する意識調査		(調査人数 6年生 62名)	
1. 日本以外で気になる国はありますか。	・ある 35名	・ない 27名	
それはどこの国ですか。(理由)			
アメリカ・・・広い土地だから		イラク・・・戦争が起きているから	
いろいろな人が集まっているから		北朝鮮・・・拉致問題などでニュースになっ	
知り合いの人がいるから		っていたから	
近くにアメリカ人が住んでいるから		韓国・・・いとこが住んでいるから	
1度行って楽しかったから		エジプト・・・ピラミッドが見たいから	
中国・・・日本に近い国だから		イギリス・・・好きな小説の場所だから	
歴史があるから		ギリシャ・・・オリンピックがあったから	
歴史学習で日本とのかかわりが深かったから			
2. 話したことがある外国人はいますか。	・いる 44名	・いない 18名	
それはどこの国の人ですか。(複数回答)			
アメリカ 36名	中国 13名	ドイツ 2名	
オーストラリア 1名	フランス 1名	イギリス 1名	
ベトナム 1名	韓国 1名	エクアドル 1名	
ブラジル 1名			
3. 日本以外の国々について感じることを書きましょう。			
・戦争やテロなど怖いことが多い。	・たくさんの人が犠牲になっていてかわいそう。		
・日本と似ているところもある。	・貧しい人たちもたくさんいる。		
・日本とは文化も生活習慣も違う。	・おもしろそうなことがたくさんある。		
4. 世界中の人が楽しく過ごすために自分ができることを考えてみましょう。			
・少しでも募金をする。	・言葉を覚えて話をしたり交流したりする。		
・違う国のことをもっと知る。	・差別をしない。		
・食糧などを送る。	・日本のことを広めていく。		

意識調査の結果から、日本以外の国で抱えている問題について関心をもっている児童がみられた。また、多くの児童が外国人と話をしたことがあると答えた。それは、ALTの方との交流は別に、「近くに住んでいる人がいる」や「親戚の友だちにいる」など、外国人を身近に感じている児童もいた。しかし、それは表面的なことであり、実際にそれらの国々の文化や習慣についての関心はまだ弱いように思われる。

・総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科	特別活動	日常生活	家庭・地域
出 会 う	10月 2週	<ul style="list-style-type: none"> 世界にはたくさんの国があるんだね。 知らない国がたくさんあるな。どんな国なんだろう。 	オリエンテーション 「世界に目を向けて」 ・世界の国々の様子を知り、人々と関わっていかうとする意識をもたせる。 心のノート P100, 101			
	10月 3週	<ul style="list-style-type: none"> 世界には大変なことがたくさんあるんだ。 深刻な問題があるね。 	総合的な学習の時間 「Meet the World」 インターネット活用 ・世界の国々の様子や抱えている問題等に気付かせる。		朝の会「スピーチタイム」 ・世界のニュースで気になったことをスピーチすることで、世界に目を向けさせる。	
	10月 4週	<ul style="list-style-type: none"> インドの人々は大変なんだな。 人のためにつくすなんてすごいな。 	道徳の時間 主題名 社会のためにつくす 4・(4) 勤労、社会奉仕 資料名 「マザー・テレサ」 (出典：学研) ねらい 一人の活動が世界へ広がるすばらしさを知って、思いやりや優しさ、愛の心を生かし、社会のためにつくそうとする気持ちを育てる。			
	10月 5週	<ul style="list-style-type: none"> 実際に会話できてうれしいな。 日本と似ているところ、変わっているところなどいろいろあるんだなあ。 	外国人との交流 ・それぞれの国の文化や風習を知り、理解を深めさせる。			
深 め る	11月 1週	<ul style="list-style-type: none"> もっと調べてみたい。 想像もつかない時代があったんだな。 二度と起きてほしくないな。 	社会 「戦争から平和への歩みを見直そう」 ・戦中、戦後の時代の学習を通して平和への意識を高めさせる。			
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> 日本とアメリカにこんなつながりがあったんだ。 どこの国とも仲よくていかなくは。 	道徳の時間(本時) 主題名 親善への努力 4・(8) 国際理解と親善 資料名 「友情の人形」 (出典：教育出版) ねらい 日本人としての自覚をもって、世界の人々との心の交流に努めようとする心情を深める。			
生 か す	11月 4週	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな国のことがわかったね。 自分たちにできることをしていこう。 	手紙を書く ・交流に来てくださった人たちに手紙やメールを出すことで、さらなる交流を図る。		高学団集会 「知らせよう世界の国々」 ・自分が興味をもち、調べた国について発表し合うことで、理解を深める。	

↓

外国の文化や風習について理解し、進んで交流しようとする子ども

・本時の指導

1 主題名 親善への努力 4 - (8) 国際理解と親善

2 資料名 「友情の人形」 (出典:「心つないで」教育出版)

3 ねらい

日本人としての自覚をもって、世界中の人々との心の交流に努めようとする心情を深める。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

高学年における指導内容4 - (8)は「外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。」である。これは、互いに尊重する大切さを理解し国際理解と親善の心をもった児童を育てようとする内容項目である。

国際化に対応していくために、世界の人々に対する正しい理解をもち、仲よく平和に生活しようとする心がけることは、きわめて重要なことである。外国の人々や異文化に対する理解と尊敬の念をもつためには、自国の文化・伝統をよく理解することが必要である。また、単に国際理解にとどまることなく、積極的に外国の人と接したり、交流の場に参加するなどして、国際親善に努めることが求められる。

読書経験やテレビなどからも世界の事象に目を向けているこの時期の児童において、世界の平和と幸福を築くことの大切さについて考え、自分たちの生活を通して世界の平和と幸福に役立つ人間になるようとする心情を養うことは大切だと考える。

そこで本時では、「深める」段階の「道徳の時間」として、「出会う」段階の「道徳の時間」で「社会のために尽くす」マザー・テレサの姿から感じ取ったことを土台として、総合単元で組んだ活動と関わらせながら、諸外国の人々に対して思いやりの心で接することのできる国際親善の心をもった児童を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

高学年ともなるとだいぶ視野も広がり、身の周りのさまざまな情報をもとに見識を深めている。その真剣なまなざしは海外へも向けられ、スポーツや社会、自然などの分野から子どもたちなりに世界の国々を見つめるようになってきている。また、これまでの総合的な学習ではALTと一緒に英語活動の機会に恵まれ、少しずつではあるが英語に慣れ親しんできている。しかしながら、交流には消極的な姿勢が目立つとともに、自分たちの主観で異文化をとらえがちな実態である。

そこで総合単元を通して国ごとの文化の違いを見つめる機会を生かしながら、相手を尊重することの大切さに気付かせ、交流を図っていこうとする実践的態度へとつなげていきたい。

(3) 資料について

本資料は、二者の立場から親善への努力があるが、特に日本人側の対応を中心に構成されている。アメリカ人、ギュリック博士が、日米両国の子どもが互いに理解し合うことが大切だと考え、日本へ人形を送った。ところが、不幸にして日本はアメリカと戦争状態に陥り、人形は敵国のものとして、壊されたり焼きすてられたりされるようになってしまった。そんな中で、平和への祈りをこめ、友情の人形を守り通したいと努力した人々がいた。戦後いくつかの残された友情の人形が集められ、化粧をほどこされたあと、再びアメリカに里帰りするという内容である。

本資料を通して、人形にこめられた親愛の心を理解しつつも人形を焼き捨てなくてはならない人々のつらさに十分共感させたい。そして、国際理解と平和の希求と親善の意味がこめられた人形を守り通した人々の考えなり心情を深く追求させることで、ねらいに迫りたい。

5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫(仮説・・・手立て2とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

<表現活動を取り入れた展開の工夫>

- ・役割演技を通して、人形にこめられた親愛の心を理解しつつも人形を焼き捨てなくてはならない人々のつらさに十分共感させたい。

<書く活動を取り入れた展開の工夫>

- ・展開後段で「外国の人たちとよい関係を築いていくために大切なこと」を書かせることで、今までの自分をふりかえり今後の実践へと結びつけたい。

6 資料分析図

場 面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図 / 発問
<p>ギュリック博士が、アメリカと日本のよりよい関係を願って、アメリカの人形を日本の子どもたちへ送った。これに対して日本からもアメリカへ日本人形が届けられ、お互いの理解と友情が深められた。</p>	<p>(日本人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカから来たお人形さんにやさしくしてあげよう。 ・アメリカの人形はおもしろいな。 ・お礼に日本の人形を送ってあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めずらしい人形だからうれしかったらうな。 ・人形にはお互いの心がこめられているんだな。 ・人形にもそれぞれの国の特徴があらわれているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自国のことを知ってもらおうとする姿から、両国のよりよい関係を願う気持ちを押さえる。
<p>やがて太平洋戦争が始まり、「友情の人形」を交換し合った少年少女たちも敵同士になってしまった。命令により、アメリカの人形は各地で処分されてしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・命令だから従うしかない。 ・せっかくの人形を処分するのはつらい。 ・早く平和になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・敵の国の人形を飾っておくわけにはいかないんだな。 ・人形を処分するのはつらかったらうな。 ・人形まで犠牲になってしまっんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治的問題で、意に反した行為をしなければならなかった悲しみに共感させる。
<p>しかし、この友情の人形を守り通したいと努力した人々もいた。処分していないことを知られたら大変なことになるという不安をいだきながらも、人形をかくしておいたのだ。終戦を迎え、両国で残っていたわずかな人形は、現在でも大切に保存されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友情の人形をこわすことはできない。 ・子どもたちの思いを大切にしたい。 ・戦争はしていても、本当ににくしみ合っているわけではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・勇気ある決断だったんだらうな。 ・友情の証である人形を大切に思っていたんだな。 ・努力が実を結ぶといいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大切にしてきたアメリカの人形を処分するよう命令されたとき、人々はどんな気持ちだったでしょう。

7 展 開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 外国人との交流を振り返り本時のねらいに関心をもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張してなかなかうまくできなかった。 ・外国人は明るくて、楽しく交流できた。 ・言葉だけでなく、いろいろな違いについても学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの国にそれぞれの文化や国民性があることを確認し、ねらいとする価値への方向付けを図る。
展 開 前 段 25分	2 資料「友情の人形」を読んで話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・国同士が健全な交流を図るために、互いの国民一人一人が、相手の国や人々を信頼していこうとすることの大切さに気付かせたい。 ・互いの文化の交流により、自国のことを知ってもらおうとする姿から、人形にこめられた深い意味を理解させたい。 ・役割演技を通して人形を焼き捨てるつらさについて考えさせる。 ・個々の関係において信頼や親愛の気持ちは少しも損なわれていないのに、政治的問題で、意に反した行為をしなければならなかった悲しみを理解させたい。 ・人形に託されたアメリカ人の親愛の情を無にしたくない気持ちからの勇気ある行為であることに気付かせたい。 <p>(評) 互いの国の善意を信じ合うことの大切さをとらえることができたか。</p>
	初めてアメリカの人形を手にして、どんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカのすばらしい人形を送ってもらってうれしい。 ・感謝の気持ちを表したい。 ・同じ人形でも日本の人形とはずいぶん違うなあ。 	
	大切にしてきたアメリカの人形を処分するよう命令されたとき、人々はどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・命令には従わなくてはならない。 ・戦争と人形とは直接関係ない。 ・大切な人形を処分するのはつらい。 ・せっかくの友情が切れてしまう。 	
	どんな思いで、人形を守り通そうとしたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大切な人形をこわすことはできない。 ・人形にこめられた思いをふみにじることはできない。 ・戦争はしていても、本当ににくしみ合っているわけではない。 ・きっとまたアメリカと仲よくできるときが来る。 	
展 開 後 段 10分	3 本時の価値に照らして、自分の生活について考える。		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで調べたりしてきたことを振り返りながら、今後の実践へと結びつけたい。 <p>(評) 本時の価値を照らし合わせて、自分を見つめることができたか。</p>
	外国の人たちとよい関係を築いていくためにはどんなことが大切だと思いますか。		
終 末 5分	4 教師の話を書く。		<ul style="list-style-type: none"> ・外国について新しい知識を得たときの驚きを想起させながら、国際親善の意欲につなげたい。

8 評 価

日本人としての自覚をもって、世界中の人々との心の交流に努めようとする心情を深めることができたか。

9 板書計画

友情の人形

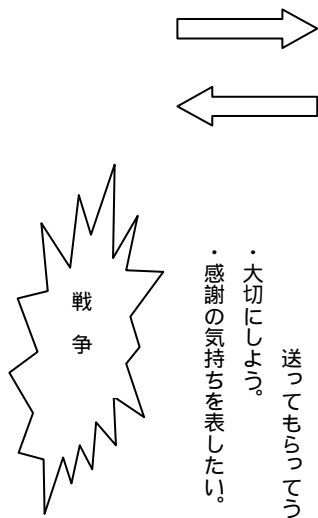
アメリカの人形

ギユリック博士の願い

- ・ 将来の平和のために
- ・ 子どもたちがたがいに理解し合うこと

初めて手にして

- ・ すばらしい人形を
- 送ってもらってうれしい。
- ・大切にしよう。
- ・感謝の気持ちを表したい。



戦争

日本の人形

人形をこわす、焼け、

- ・ 命令には従わなくてはならない。
- ・ 戦争と人形とは関係ない。
- ・ 大切な人形を処分するのはつらい。
- ・ せつかくの友情が切れてしまう。

人形を守る

- ・ 大切な人形をこわすことはできない。
- ・ せつかくの気持ちをふみにじることができない。
- ・ 早く戦争が終わって、また仲良くできるといい。

国際親善

たがいに信じ合う。

相手の気持ちを大切にす。

10 道徳ノート

6年 道徳ノート

「友情の人形」

名前 ()

外国の人たちとよい関係を築いていくためにはどんなことが大切だと思えますか。詳しく書いてください。

今日の自分をふりかえって () ()

先生や友達の話をよく聞くことができた。

自分の考えを発表することができた。

書く活動ががんばった。